

展示1-教育棟

生き物のかたちの芸術性を世に問うたヘッケルは生物学者であり、医者でもありました。また、最初は画家を目指していました。そんな、ヘ ッケルが出版したKunstformen der Nature (邦訳『生物の驚異的な形』他)は、その芸術性の高さから、20世紀初頭の芸術家に大きな影響 を与え、アール・ヌーヴォー運動のきっかけの一つとなったとされています。この展示ではヘッケルの描いた図と共に元になった生物の標 本・写真等を展示し、ヘッケルが生き物をどのように見ていたのか、生き物のかたちの芸術性を見て頂きたいと思います。

展示2-研修展示館

- •日常の植物アート
- •植物のかたちとアート

展示案内

北山 太樹

1月13日(日)

辻 彰洋

13:00~13:30

12月23日(日)13:00~13:30

1月6日(日)、1月12日(土)、

- ・フジマリモ
- ・ 筑植写真コンテスト作品展示
- ・金工とデザイン―植物アート
- ・きのこアート
- 海藻アート
- ・美しき微細藻類の顕微鏡観察コーナー

など

※めざせ!ベストどんぐりストの二次審査も行います





「ヘッケルが愛したいきものたち」 相田吉昭(宇都宮大学) 「小さないきものの形の秘密」

辻彰洋(国立科学博物館)

平成25年1月14日(月•祝)14:00~16:00



ヘッケルが最も愛した生き物の一つは放散 虫と呼ばれる単細胞の海洋のプランクトン です。相田教授は放散虫の研究者であり、ド イツのヘッケルハウスでの調査なども行って きています。講演では様々な放散虫について 紹介して頂くと共に、ヘッケルの生物学者と しての側面、芸術家としての側面について話 をして頂きます。

ケイソウをモチーフとした おりがみ絞り染めワークショップ 平成24年12月23日(日) 9:30~16:00



定員:15名(小学3年生以下は親子同伴)

※要申込み 12/9必着

材料費:300円

講師:東京学芸大学美術分野 准教授 古瀬 政弘 (アシスタント:東京学芸大学 大学院生 神田 春菜)

ワークショップのお申し込みは、 往復はがきにてお願いいたします。



〈交通案内〉

常磐自動車道 桜土浦 I.C. から北(筑波山方面)へ約 8km

| 雷車・バス |

- つくばエクスプレス「つくば駅」より関東鉄道バス
- 5 番乗り場『テクノパーク大穂行き』→「筑波実験植物園前」下車→徒歩2分
- 26番乗り場『筑波大学循環左回り』→「天久保二丁目」下車→徒歩8分

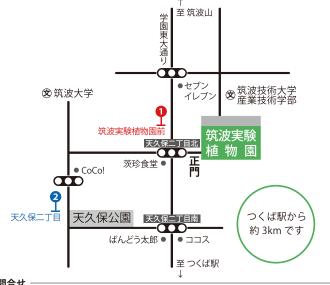
〔つくば駅バスターミナル時刻表〕

0		平日		土日祝
	9			35
	10	0	55	55
	11			
	12			
	13			20
	14	0		
	15			

	平日			土日祝
9	10	30	50	0 40
10	10	30	50	20
11	10	30	50	0 40
12	10	30	50	20
13	10	30	50	0 40
14	10	30	50	20
15	10	30	50	0 40

植物多様性を知る・守る・伝える

夏休み植物園フェスタ 7/21(土)~8/5(日)変化朝顔展 8/25(土)~9/9(日)



お問合せ

[住所] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 [電話] 029-851-5159 [URL] http://www.tbg.kahaku.go.jp/